

その先へと、
ひろがる美術。

公開シンポジウム
美術館と
現代美術
作品展示と保存

平成29年 12月23日 [土・祝] 10:00~16:30
(9:30より受付開始 事前申込不要 聴講無料)
会場:福岡アジア美術館 あじびホール 8F

登壇者



岡田温司
(京都大学大学院)



森直義
(森絵画保存修復工房)



小川絢子
(国立国際美術館)



柏尾沙織
(福岡アジア美術館)



渡抜由季
(福岡市美術館)

従来と異なる材料・技法・アイデアで制作される現代美術は、美術館において展示・公開する場合、保存上、多くの課題を抱えています。そのため、タイムベースド・メディア^(※)や生物といった新素材の使用、劣化過程も作品とする認識、作家本人による修復の是非等も合わせて検討していく必要があるといえるでしょう。そして、美術館でこれらを展示する場合は、使用機材の確保、作品の再演性、作家との連携、使用されている素材の情報収集など、保存修復だけでなくアーカイブといった記録が特に重要視されます。今回は美術館による現代美術の展示に焦点を絞り、保存修復と展示の関わり方について考え方や方針について模索いたします。

今回の活動意義は、全国で現代美術の保存に関わる専門家らを招聘し、公開シンポジウムを開催することで、各々が考える保存上の問題について意見交換し、より深い理解を得るとともに、交流することにより保存に関わる学芸員間のネットワークの構築が期待されることにあります。また、市民・地域への保存普及活動という視点から、美術館だけでなく、現代美術に関心のある一般市民の皆様にとっても考えるきっかけとなれば幸いです。

※ビデオやスライド、フィルムやサウンド、コンピューター等テクノロジーに典拠したり、表現様式に時間軸の経過を伴う作品のことを指す
(1972年デヴィット・ホール「Studio international」)



修復作業としての補彩

日程：平成29年 **12月23日** (土・祝) 10:00～16:30

(9:30より受付開始 事前申込不要 聴講無料)

会場：福岡アジア美術館 あじびホール 8F

〒812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル7・8階

問い合わせ先

福岡市美術館 学芸課

tel: 092-714-6054

fax: 092-714-6145

<http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

次第

司会進行：渡抜由季

9:30-10:00 開場

10:00-10:05 開会、開会挨拶

国内の美術館の事例報告

10:05-10:45 【事例報告】柏尾沙織 (福岡アジア美術館)

10:50-11:30 【事例報告】渡抜由季 (福岡市美術館)

11:35-12:15 【事例報告】小川絢子 (国立国際美術館)

12:15-13:30 昼食 (休憩)

それぞれの立場から考える現代美術の保存

13:30-14:00 【コメント】森直義 (森絵画保存修復工房)

14:05-14:35 【コメント】岡田温司 (京都大学大学院)

14:35-14:50 休憩

14:50-15:50 パネルディスカッション

15:50-16:25 質疑応答

16:25-16:30 閉会挨拶



【市営地下鉄】中洲川端駅下車、徒歩10分程度です。
 【福岡空港から福岡空港駅より17分】、JR博多駅から博多駅より15分、西鉄福岡駅から天神駅より1分
 【西鉄バス】川端町博多駅前バス停下車、徒歩5分
 【車】太宰府方面から都市高速千代ランプより車で約7分
 北九州市方面から都市高速西陵町ランプより車で約15分
 ※福岡通りより、博多リバレイン地下の駐車場(有料)をご利用ください。